

学習プログラム開発をしよう

(A) グループ メンバー (向井、武正、徳清、幅野、上村、國光)

テーマ 家庭教育支援

個人の要望

知識を得たい
交流したい
外出するきっかけが欲しい

社会の要請

子育て家庭のネットワーク作り
サークル支援
旧住民と新住民のコミュニティ

地域課題

育児不安を抱える家庭を地域が支援していく体制が未成熟
子育て支援のネットワーク
支援者養成

学習目的

子育て世代を中心とした地域住民の
仲間意識を育て
子育て支援ネットワークを形成する

学習目標

支援者養成

【学習プログラムを開発しよう!】

(A) グループ メンバー (向井・國光・風上・徳清・帽野・上木)

1 学習目的

子育て世代を中心とした地域住民の仲間意識を育てて
子育て支援ネットワークを形成する。

2 学習目標

読み聞かせが出来よう様になる

3 プログラム名

読み聞かせホップ・ステップ・ジャンプ

4 対象・定員

どなたでも、15人

5 参加費

(受益者負担を原則として、参加費を算定する。なお算出の根拠も明確にする。)

無料

6 事前に必要な知識や準備物

絵本(参加者持参)・アンケート用紙
読み聞かせ用の本

7 留意点

広報のやり方 開館時間 ホラステイ 大学生参加も負担
大学や地元紙にも 開園日の把握 活用場の提供 長期休日時をねらう

(A) グループ

シートB (清書用)

8 学習プログラムの展開

回・日程	学習テーマ	各回の学習目標 (◎) 学習内容	学習支援者	学習場所
1回 金曜日 午前 10~12時	読書開かせの トピを閉めろ!	オリエンテーション(アイスブレイク) 司書の方に話をしてもらおう 実際には読んでほしい と、そのための体験 シートもあつくりようという紹介 参加者に印象深がた 1冊を持参してもらい紹介	図書館司書 図書館ボランティア	公民館
2回 1週間後 金曜日 午前 10~12時	お話し会を 見てみよう! ~ホウワウ~	グループ分け (5人×3グループ) 図書館で行われている 読書開かせ、お話し会の見学 本の選り方、効果を司書にしてもらおう そのほかのグループで選ぶ	〃	図書館
3回 1週間後 金曜日 午前 10~12時	お話し会を つくりよう! ~スワウワウ~	グループで組立てを考へる リソースをある	図書館司書	公民館
4回 2週間後	お話し会を やってみよう! ~シヤウワウ~	発表の場 保育園(参観日など)に 出向き、発表		保育園

9 評価方法

アンケート

【各回の実施計画を立ててみよう！】

(A) グループ メンバー (向井・園光・風上・徳清・幅野・エネシ)

1 学習テーマと学習目標

○学習テーマ

読み聞かせのトビラを開こう

○学習目標

読み聞かせの効果を知り、知識を習得する

2 回・日時・場所

○回・日時

第 1 回 9月 日 (金) 10時 00分 ~ 12時 00分

○場所

風上色公民館

3 講師、指導者、支援者

風上色外: 図書館司書 及び 図書館ボランティア

4 準備物

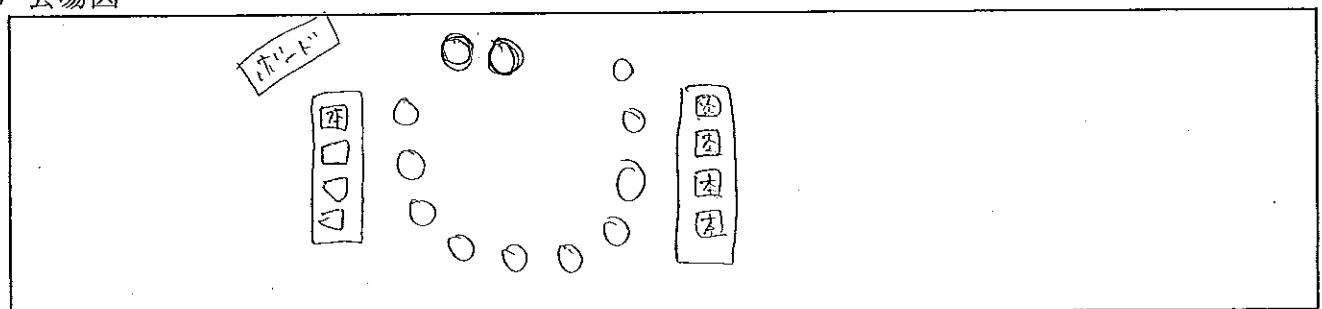
○参加者

心に写った、1冊女子絵本 1冊程度 (できれば冊子と並に読み聞かせたもの
読ませたいもの)

○主催者

読み聞かせ実用の本 (司書へ依頼)、受付名簿、アンケート用紙、筆記用具
ポワッポット、マーカー、配布用資料 (冊子)、名札、いんスタ (A4)

5 会場図



6 実施計画

時刻	内容	留意点
9:30	会場設営 受付開始 名札、資料配布	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて机を準備する (本置き用、荷物置き用) 受付 職員 (1名) - 受付の準備(サインボード等)を記入しもらう 司会、説明 職員 (1名)
10:00	オリエンテーション 諸連絡 アイスブレイク	
10:00	講師紹介 講演テーマ (「あひはにも出来る読み聞かせ」)	講演 図書館司書
10:40	読み聞かせ (30分)	読み聞かせ 図書ボランティア
10:50	休憩 (10分)	次の時間は自己紹介、本紹介 あひは 休憩に入る前に連絡多しておく
11:00	絵本の紹介、自己紹介 1人2分×15人 (30分)	タイムキーパー 時間を管理する
11:30	講師による話 次回に向けての読み聞かせの導入 フリートーク	図書ボランティアさんの意見も積極的に聞けるように、事前に打ち合わせしておく
11:55	アンケート 次回の諸連絡	